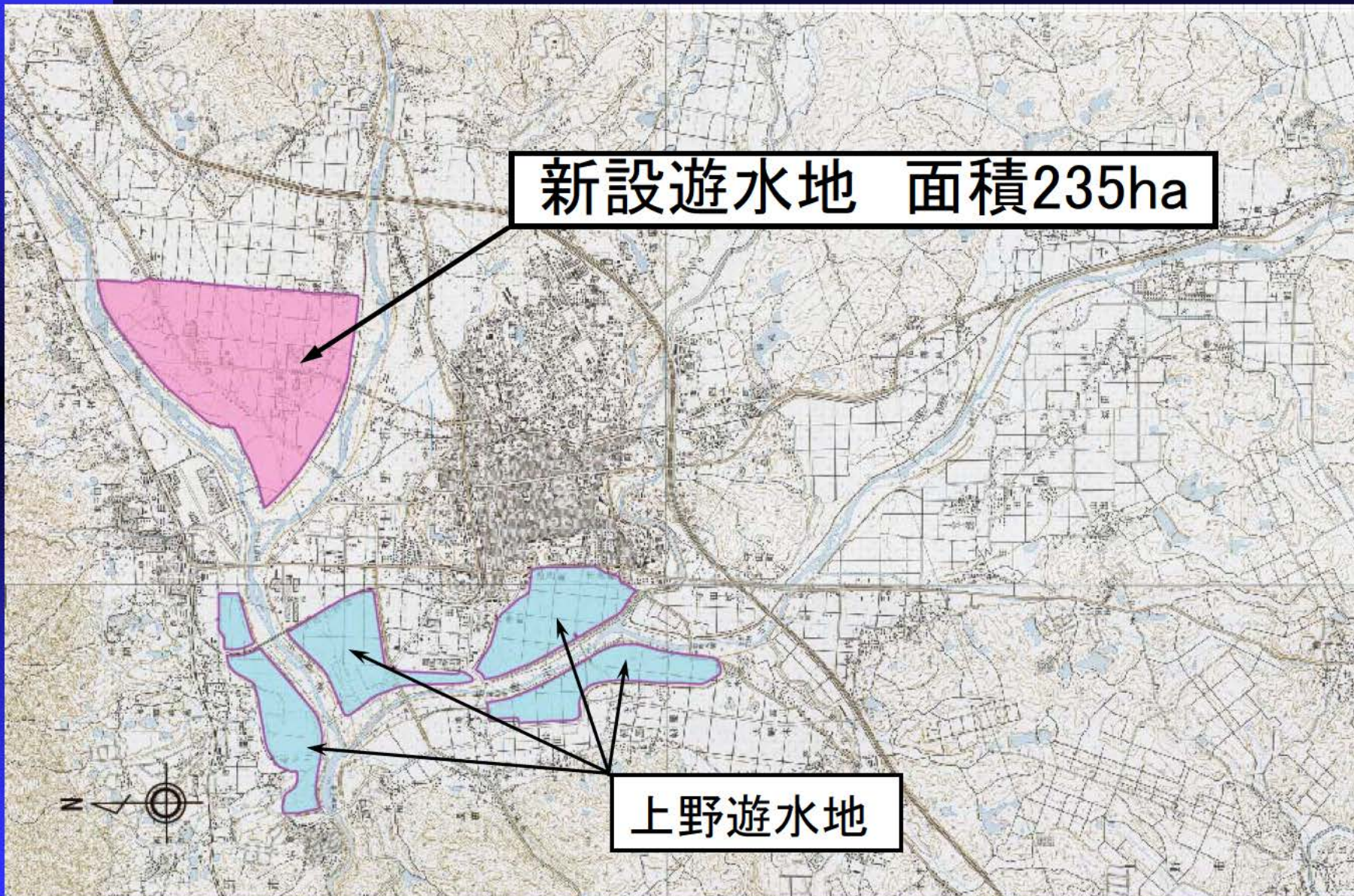


□柘植川遊水地案

上野遊水地上流部の柘植川・服部川合流点に新たな遊水地(235ha)を新設する案です

柘植川遊水地案



柘植川遊水地案

メリット

- ・田園風景が変化するものの自然環境への影響は少ない

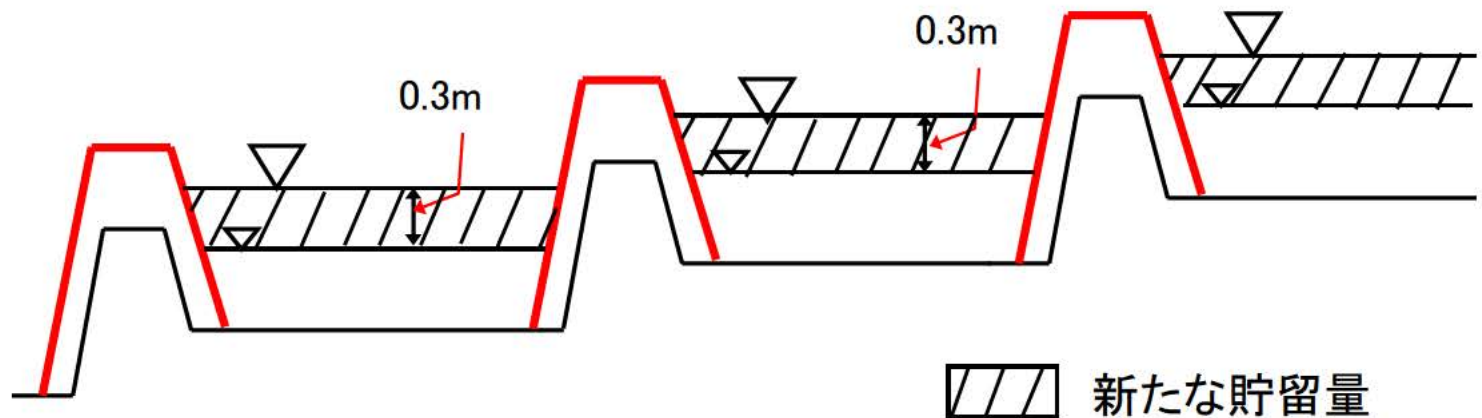
デメリット

- ・大規模な用地補償が必要となり、事業の長期化が予想されます
- ・上野地区は平地が狭小で、遊水地新設に伴い土地利用が限定され、地域発展に影響します

詳細検討の対象とします

□水田畦嵩上げ案

流域内の水田の畦を嵩上げる案です



(注) 降雨時には降雨を貯留します

水田畦嵩上げ案

流域内の6,600haの内、約5,000ha(75%)の
水田の畦の嵩上げが必要です

メリット

- ・自然環境への影響は少ない

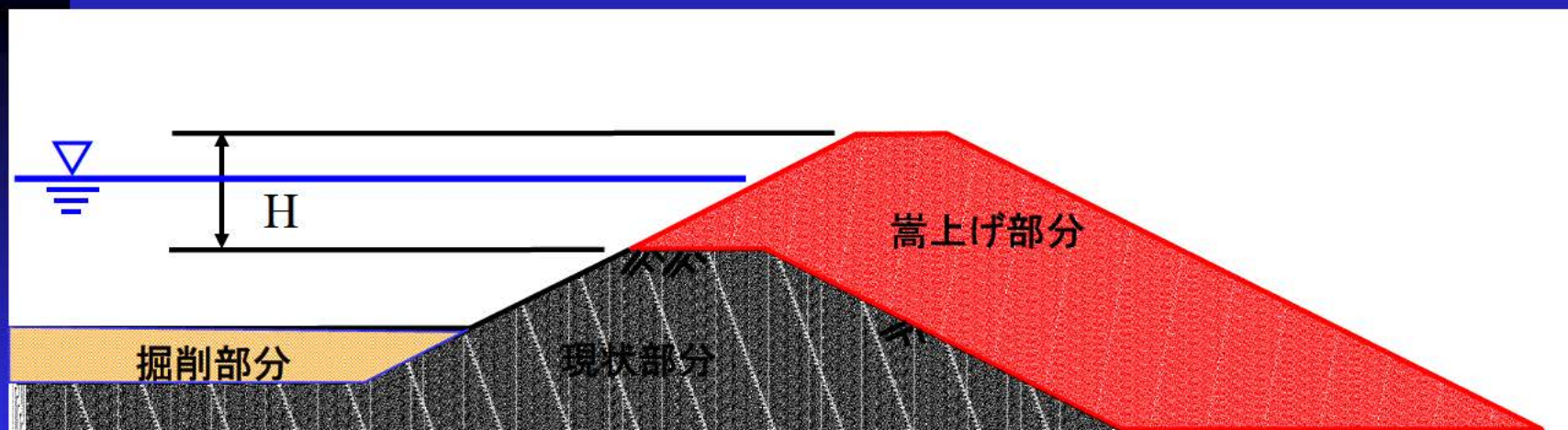
デメリット

- ・降雨時期と稲作時期が重なれば、稲作に悪影響が生じます
- ・降雨時に、約5,000haの水田で降雨を貯留する管理は困難
- ・大規模な用地補償(地役権補償等)が必要になり、事業の長期化が予想されます

詳細検討の対象外とします

口溜池掘削嵩上げ案

流域内に点在する農業用溜池を掘削及び嵩上げする案です



溜池掘削嵩上げ案

湛水面積0.5ha程度の溜池約550箇所での対策が必要になります

メリット

- ・田園風景が変化するものの自然環境への影響は少ない

デメリット

- ・約550箇所の溜池の個別調整や維持管理は困難
- ・約550箇所の溜池で取水・排水への配慮が必要です

詳細検討の対象とします

□耐水型街づくり案(ピロティ案)

浸水が予想される区域の建物を高床式にする案です



高床式家屋イメージ図

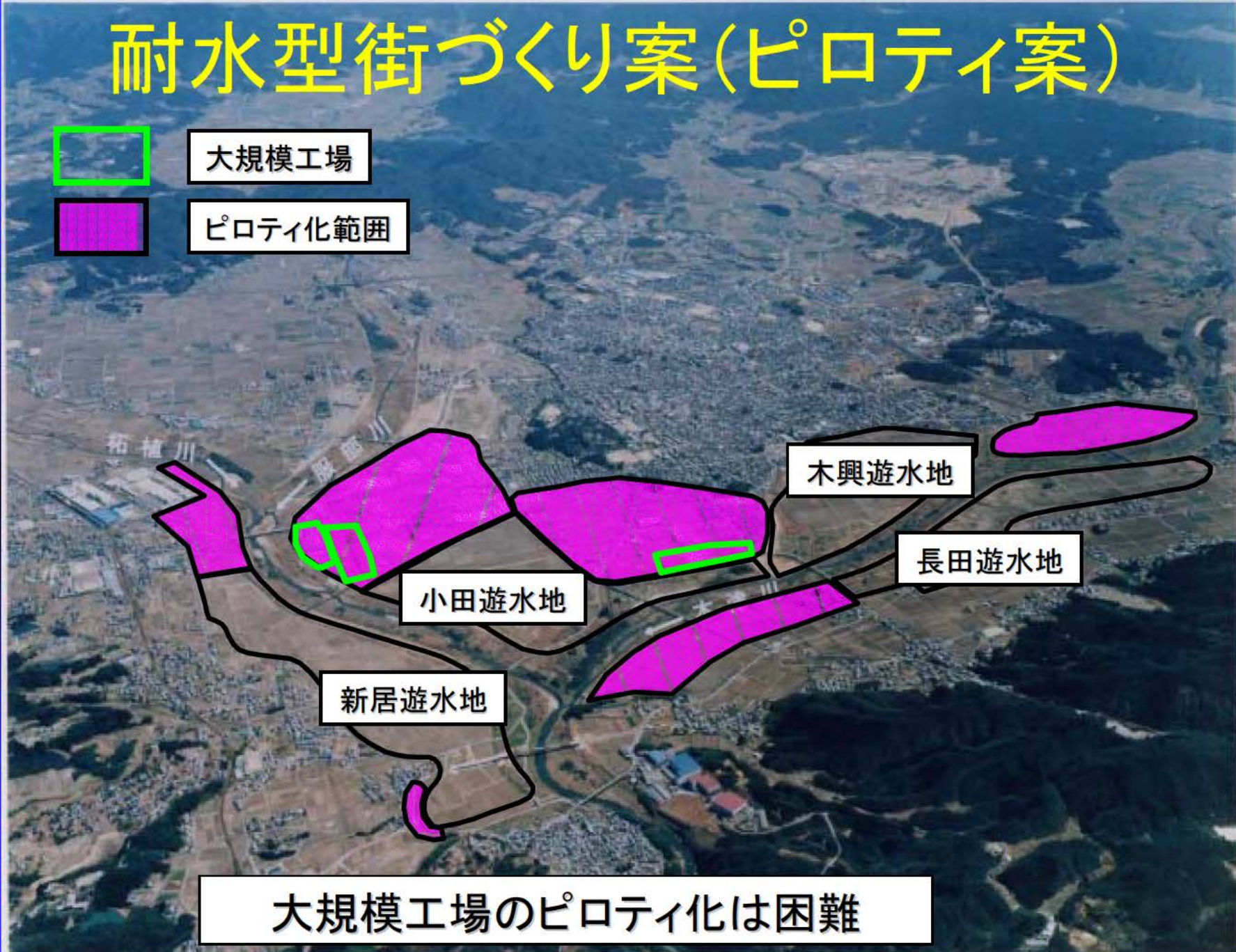
耐水型街づくり案(ピロティ案)



大規模工場



ピロティ化範囲



耐水型街づくり案(ピロティ案)

メリット

- ・市街地の風景が変化するものの自然環境への影響は少ない

デメリット

- ・大規模工場のピロティ化は実態的に不可能
- ・中心市街地の大規模工場3箇所、家屋443戸は浸水に伴い孤立します
- ・生活の利便性が悪くなり、地域の発展に影響します
- ・バリアフリーが困難です

複 合 案

□上野遊水地掘削拡大案＋ピロティ案

上野遊水地に隣接する水田に遊水地を新設し、さらに浸水が予想される区域の家屋を高床式にする案です

上野遊水地掘削拡大案＋ピロティ案

メリット

- ・田園風景が変化するものの自然環境への影響は少ない

デメリット

- ・中心市街地の家屋91戸は、洪水時に孤立します
- ・既往最大浸水面積の約2/3が遊水地面積として必要になります
- ・遊水地の掘削拡大に伴い大規模な用地補償が必要となり、事業の長期化が予想されます
- ・上野地区は平地が狭小で、遊水地拡大に伴い土地利用が限定され、地域発展に影響します

詳細検討の対象とします

ロピロティ案十 一部(大規模工場)輪中堤案

浸水が予想される区域の家屋を高床式にし、高床式が困難な大規模工場については、輪中堤にする案です

ピロティ案十

一部(大規模工場)輪中堤案

メリット

- ・田園風景が変化するものの自然環境への影響は少ない

デメリット

- ・中心市街地の家屋443戸及び輪中堤内の大規模工場は、洪水時に孤立します
- ・生活の利便性が悪くなり、地域の発展に影響します
- ・バリアフリーが困難です

詳細検討の対象とします

詳細検討の対象

- 上野遊水地掘削拡大案
- 遊水地新設案
 - 依那古遊水地案
 - 柘植川遊水地案
- 溜池掘削嵩上げ案
- 複合案
 - 上野遊水地掘削拡大案＋ピロティ案
 - ピロティ案＋一部(大規模工場)輪中堤案

詳細検討の結果：各案の施設概要

既往最大規模洪水(昭和28年13号台風)

	上野遊水地 掘削拡大案	依那古 遊水地案	柘植川 遊水地案	溜池掘削 嵩上げ案	上野遊水地 掘削拡大案＋ ピロティ案	ピロティ案 ＋一部(大 規模工場) 輪中堤案
施設の 概要	(上野遊水地 掘削) 新規容量 約250万m ³ (新規遊水地) 面積82ha 新規容量 約180万m ³ 築堤 5.4km 越流堤 2箇所 ポンプ場 2箇所	(新規遊水地) 面積350ha 新規容量 約800万m ³ 築堤 35.9km 越流堤 2箇所 ポンプ場 2箇所	(新規遊水地) 面積235ha 新規容量 約660万m ³ 築堤 6.8km 越流堤 1箇所 ポンプ場 1箇所	嵩上げ 対象数 550箇所 溜池の掘削 嵩上げ高 3.7m 放流施設 改造 取水設備 改造	(上野遊水地 掘削) 新規容量 約250万m ³ (新規遊水地) 面積82ha 新規容量 約180万m ³ 築堤 5.4km 越流堤 2箇所 ポンプ場 2箇所 ピロティ化する 家屋数 91戸	(大規模 工場) 輪中堤 1.9km ポンプ場 2箇所 ピロティ化 する家屋数 443戸 70

詳細検討の結果：各案の比較

(既往最大規模洪水：昭和28年13号台風)

	上野遊水地 掘削拡大案	依那古 遊水地案	柘植川 遊水地案	溜池掘削 嵩上げ案	上野遊水地 掘削拡大案 +ピロティ案	ピロティ案十 一部(大規 模工場)輪 中堤案
補償上の 問題	家屋移転 91戸 既存遊水地 掘削の同意 250ha 地役権補償 74ha 地権者数 1,900人	家屋移転 730戸 地役権補償 293ha 地権者数 2,700人	家屋移転 550戸 地役権補償 171ha 地権者数 1,900人	用地取得 130ha 地権者数 5,000人	ピロティ化 する家屋数 91戸 既存遊水地 掘削の同意 250ha 地役権補償 78ha 地権者数 1,900人	家屋移転及 びピロティ 化する家屋 数 443戸 地役権補償 159ha 地権者数 1,400人
事業コスト	780億円	1,700億円	1,090億円	2,060億円	790億円	780億円
自然環境 への影響	少ない	少ない	少ない	少ない	少ない	少ない

評価について

比較表より事業コストの面からみると、上野遊水地掘削拡大案、上野遊水地掘削拡大案+ピロティ案、ピロティ案+一部(大規模工場)輪中堤案が相対的に有利です

しかしながらこの3つの案は、

■ 事業実施に伴い、

上野遊水地掘削拡大案は、家屋移転91戸、地役権補償74ha、地権者数1,900人の補償が必要になります

上野遊水地掘削拡大案+ピロティ案は、ピロティ化する家屋91戸、地役権補償78ha、地権者数1,900人の補償が必要になります

ピロティ案+一部(大規模工場)輪中堤案は、家屋移転及びピロティ化する家屋443戸、地役権補償159ha、地権者数1,400人の補償が必要になります

■ 現在実施している上野遊水地と同じ速さで事業が進むとしてもそれぞれ40年以上を要すると見込まれます

■ これまでの経緯から地元合意を得るのは実態的に不可能です